

Bulletion of Kagoshima
Prefectural Archaeological Center

From JOMON NO MORI

No. 17 CONTENTS

About human bones from the Jomon period excavated
in Kagoshima Prefecture

Tatsumi Yubasakir

Introduction of excavated materials at
the Hoshizako site, Kajiki-cho, Aira City (1)

Kagoshima Prefectural Archaeological Center

Some consideration about of sue ware in the Middle Ages
in Kagoshima Prefecture

Uwatoko Sin

Characteristics of Distylium racemoum and
excavated materials and folklor materials

Higashi Kazuyuki

Annual of Kagoshima Prefectural Archaeological Center of the
5nd year in Reiwa.

Kagoshima Prefectural Archaeological Center
October 2024

研究紀要・年報

縄文の森から

From JOMON NO MORI

第17号

鹿児島県出土の縄文時代該当の人骨について
—出土遺跡や人骨の集成と概要—

湯場崎 辰巳

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（1）

鹿児島県立埋蔵文化財センター

鹿児島県出土中世須恵器の若干の検討～特に貯蔵具に着目して～

上床 真

イスノキの特長と出土資料および民俗資料例

東 和幸

令和5年度 年報

鹿児島県立埋蔵文化財センター

2024. 12

研究紀要

年報

縄文の森から

第17号

二〇二四

鹿児島県立埋蔵文化財センター

『縄文の森から』第17号 目次

鹿児島県出土の縄文時代該当の人骨について—出土遺跡や人骨の集成と概要—

湯場崎 辰巳・・・・・・ 1

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（1）

鹿児島県立埋蔵文化財センター・・・・・・ 23

鹿児島県出土中世須恵器の若干の検討～特に貯蔵具に着目して～

上床 真・・・・・・ 52

イスノキの特長と出土資料および民俗資料例

東 和幸・・・・・・ 63

令和5年度年報・・・・・・ 77

令和5年度
年報

県立埋蔵文化財センター
第一調査系の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	名主原遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	(主)鹿屋春平 佐多線(吾平道 路)道路改築	本調査	4,570	5月 ～ 2月	縄文	—	土器(指宿式?)	○弥生時代後期～古墳時代前期にかけての遺構が多数切り合って検出された。特に鍛冶遺構は県内最古の可能性が考えられる。 ○その他、径20m程の溝で囲まれた埋葬施設と推定される遺構も検出された。	今村 鮫島 新和技 術コン サルタ (株)
								弥生中期	—	土器(山ノ口式)		
								弥生後期 ～ 古墳前期	竪穴建物跡80基、溝状遺構9条、道路状遺構3条、埋設土器3基、土器集中11か所、土坑74基、孤立柱建物跡4基、ピット997基、墓・埋葬施設3基	土器(高付式、免田式、中津野式、東原式)、土製品(丸玉、勾玉、紡錘車)、不明土製品、石彫丁、石彫丁未製品、磁石、磨・歛石、台石、軽石製品、磨製石鏃、打製石鏃、磨製石斧、鉄鏃、鉄斧、鉄鏃、鉄針、鉄鏃、鏃、鉄片、鉄塊、鍛造剥片、不明鉄製品、ガラス玉、ガラス勾玉		
								古墳後期	溝状遺構3条、道路状遺構3条	須恵器		
								古代	道路状遺構1条、道路状遺構11条			
								近世	溝状遺構	陶磁器、磁器、青磁		
2	中組遺跡	天城町		伊仙天城線(平 土野工区)道路 改築	本調査	300	12月 ～ 2月	近代	ピット11基、石列	陶磁器	○近世と考えられる溝状遺構が検出された。	高吉 星野
								時期不明	ピット13基、土坑3基			
								縄文後期	—	土器(丸尾式、中岳Ⅱ式)、フレーク		
3	柳迫遺跡	曾於市	土木部 道路維持課	特定交通安全 施設等整備事 業(深川工区)	本調査	700	1月 ～ 2月	縄文晩期	—	土器(入佐式)	○中世と推定される溝状遺構が検出され、埋没中に後世の火山灰で覆われていた。 ○その他、縄文後期と考えられる硬化面も検出されている。	上浦 隈元
								古代	土坑1基	土師器		
								中世	溝状遺構4条			
								時期不明	帯状硬化面1条、土坑2基			
								中世・近世	ピット198基、土坑2基、硬化面1条	【中世】青磁、白磁、青花、土師器、土製品 【近世】薩摩焼、肥前系陶磁器、瓦、陶磁器		
4	虎居城跡	さつま町	土木部 都市計画課	北薩広域公園 整備	本調査	1,500	11月 ～ 1月	時期不明	焼土2面、溝状遺構?1条	鉄製品、古銭	○根石をもつ柱穴が検出され、総柱状に並ぶことから、何らかの建物があったと考えられる。	山下 (智) 山下 (勲)
								近世	溝状遺構1条、柱穴列(柱穴14基)	陶磁器(薩摩焼、肥前系、琉球)、丸瓦、軒丸瓦、平瓦、軒平瓦、棧瓦)、青磁		
5	鹿児島城 二ノ丸跡	鹿児島市	商工政策課	県有地整備	本調査	800	8月 ～ 10月	時期不明	石列、礎石、排水溝、雨樋状遺構	平瓦、丸瓦、棧瓦、軒瓦、陶磁器、磁器、土師器、木片	○近世のものとして推定される柱穴が検出された。柱穴には安山岩や凝灰岩の根石が入っているものがあり、一列に並んでいたことから、建物ではなく堀などの可能性が考えられる。	高吉 星野
								縄文早期	—	土器(塞ノ神式、押型文)、二次加工剥片、石核、石皿		
6	大願寺跡	さつま町	鹿児島県 教育委員会	廃寺は語る! よみがえる 鹿児島島の 仏教文化	確認	296	6月	縄文後期	—	土器(南福寺)	○建物に関連する遺構は検出されなかったが、中近世のものと思われる溝状遺構及び硬化面が検出された。 ○調査区に接して鐘撞き堂の礎石が残存しており、大願寺に関連する可能性が考えられる。	上浦 野間口
								古墳	—	土器		
								中近世	溝状遺構9条、帯状硬化面4条、土坑1基、ピット1基	薩摩焼(龍門司)、青磁、染付(青花)、火打ち石		
								縄文	硬化面	土器(石坂式)		
7	下城跡	始良市	土木部 道路建設課	県単道路整備	確認	19.4	11月	中世	ピット10基	焼成粘土塊	○曲輪や空堀、土塁等が良好に残存しており、中世のものと思われるピットが検出された。 ○その他、縄文早期土器が出土している。	大保 倉元
								近世以降	—	陶器		
								縄文	—	土器(石坂式)		

県立埋蔵文化財センター
第一調査系の成果(県事業関係の調査)

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者	
1	廣牧遺跡				整理 報告書 刊行	-	H30 ~ R2	縄文後期	-	土器(市来式)	○突帯文の時期の遺物が 多く出土しており、この時期 の吾平地域の様相を知る上 で興味深い資料である。	平 黒川	
								弥生	整穴建物跡1軒、石器集積1 基、大型土坑4基、土坑、柱 穴、溝状遺構	土器(刻目突帯文、山ノ口式)、 打製石鏃、磨製石鏃、扁平打 製石斧、横刃形石器、磨・敲 石、石皿			
								古代	畝間状遺構、柱穴	土師器、須恵器			
								中世	古道、柱穴	青磁			
								近世	古道、柱穴	薩摩焼(加治木・始良系)			
2	名主原遺跡	鹿屋市	鹿児島県 土木部 道路建設課	(主)鹿屋吾平 佐多線改築事 業	整理	-	H30 R3 ~ R5	縄文	-	土器(指宿式)、横刃形石器	○古墳時代の石廂丁及び 未製品が多く出土しており、 この時期の生産の様相を知る 上で重要である。 また砥石は鉄を研いだもの が多いことがわかった。	今村 黒木 山下 (暫)口 星野	
								弥生	-	土器(入来式、山ノ口式、免田 式)、ジョッキ形土器、磨製石 鏃、打製石鏃			
								弥生後期 古墳	整穴建物跡27基、溝状遺構5 条、道路状遺構1条、埋設土器 3基、土器集中10か所、土坑5 基、ピット698基	土器(中津野式、東原式)、須 恵器、土製勾玉、土製丸玉、不 明土製品、石廂丁、石廂丁未 製品、砥石、磨・敲石、台石、 石鏃、管玉、軽石製品、磨製石 斧、鉄斧、刀子、鉄鏃、微小鉄 片、不明鉄製品、ガラス小玉			
								古代	溝状遺構1条、道路状遺構2条				
3	虎居城跡	さつま町	土木部 都市計画課	北薩広域公園 整備	整理	-	H21 H26 H28 R2 ~ R5	縄文	-	土器、磨石	○15~16C代の遺物が多く 出土しているが、近世の遺 物もあることから、一定程度 の管理がされていたものと 考えられる。	山下 (暫)堂 込平	
								中世	石垣、礫集中域、石列、石加工 痕、工具痕、ピット30基、配石 遺構、不明遺構、庭園状遺構	青磁、白磁、青花、土師器、瓦 質土器、石臼、火打ち石、炬 器、水晶柱、基石、鉄扉、不明 鉄製品			
								近世	石積み	染付、薩摩焼、合子			
								近代	-	磁器、瓦、鉄製品(楔)			
								時期不明	-	磁器、ガラス製品(おはじき)、 瓦			
4	光台寺跡ほか	指宿市ほか		廃寺は語る！ よみがえる鹿 児島の仏教文 化	報告書 刊行	-	R3 ~ R5	縄文早期	-	【大願寺跡】土器(押型文、塞ノ 神式)、二次加工剥片、石核、 石皿	○県内の廃寺の中から3ヶ 寺にスポットを当てて調査を 行った。発掘調査だけでなく、 文献調査、石造物などの 現地調査、地域の方々への 聞き取り調査も組み合わせ ることによって、現在廃寺と なっていた土地の来歴の 一端を明らかにすることが できた。	上浦 平	
								縄文中期	-	【大願寺跡】土器(南福寺式)			
								古墳	-	【大願寺跡】土器			
								中世	【照信院跡】土坑4基、溝状遺 構3基、ピット8基、かまど状遺 構1基、造成面及び造成土、版 築、造成土(煉敷)	【光台寺跡】青磁、白磁、備前 焼 【照信院跡】青磁、白磁、土師 器、陶磁器、玉石、軽石製品			
								中近世	【大願寺跡】溝状遺構10条、帯 状硬化面3条、土坑1基、ピット 1基	【大願寺跡】青磁、染付(青 花)、薩摩焼(龍門司)、火打ち 石			
								近世	【光台寺跡】石垣、土坑1基	【光台寺跡】瓦(軒瓦、棧瓦、丸 瓦、塀瓦)、薩摩焼(黒薩摩、白 薩摩、播鉢)、備前焼、琉球陶 器、土師器 【照信院跡】青磁、白磁、土師 器、薩摩焼(黒薩摩、白薩摩)、 陶磁器、青銅製品(華瓶・鉢)、 寛永通宝、玉石、軽石製品			
5	河ロコレクション (高橋貝塚)	南さつま市			報告書 刊行	-	S37 S38	弥生	-	発掘調査記録写真集	OS37・38の発掘調査記録 写真等から調査の概要が 理解できる。	堂込	
6	河ロコレクション (黒川洞穴)	日置市ほか			よみがえる「河 ロコレクション」 の世界	報告書 刊行	-	S27 S39 S40 S42	縄文	土坑15基、炉跡	土器(縄文、曾畑式、市来式、 黒川式)、サルボウガイ、石器 (磨石・石鏃)、貝製品、骨角製 品	○黒川洞穴が縄文時代を 通じてキャンプサイトとして 活用され多様な生業がわか がわれる。	堂込 上浦

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	二子塚B遺跡	大崎町	土木部 道路建設課	黒石申良線整備	本調査	900	11月 ～ 2月	縄文早期	土坑1基、土器集中1か所	土器(手向山式、塞ノ神式)、石鏃、石槍、磨石、台石・石皿、チップ・フレーク	○掘立柱建物跡を1基、底部に硬化面を伴う溝状遺構を2条、土器集中1か所などを検出。 ○縄文時代後～晩期の土器・石器が出土。	鮫島 中野 椒田
								縄文後期～晩期	立石遺構1基、土器集中1か所、ピット1基	土器(中岳Ⅱ式、入佐式、黒川式)、石鏃、石鏃、石匙、打製石斧、磨製石斧、磨石、台石、石皿、チップ、フレーク		
								弥生	土坑1基	土器(刻目突帯文)		
								古墳	土坑1基	土器(東原式、辻堂原式)		
								時期不明	溝状遺構2条、掘立柱建物跡1基、ピット33基、土坑2基			
2	八重石遺跡	西之表市	防衛省	馬毛島基地(仮)建設	確認・本調査	9,000	5月 ～ 7月	縄文早期	土坑1基	土器(前平式)磨製石鏃、磨製石斧、磨石、二次加工剥片など	○縄文時代早期と思われる土坑を1基検出。	今村 隼野 中野
								時期不明	炭化物・焼土を伴うピット・土坑(樹根と判断)	○前平式土器、石鏃、磨製石斧などが出土。		

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	久保田牧遺跡 立塚遺跡	鹿屋市			整理 報告書 刊行	—	H28 R2 ～ R4	【久保田牧遺跡】	炭化物集中域1か所、集石13基	土器(前平式、条痕文、押型文、平柄式、塞ノ神A式、菅浜式、轟B式)、打製石鏃、尖頭状石器、磨製石鏃、石鏃、石匙、打製石斧、磨製石斧、磨石、敲石、礫器、石皿	○縄文早期・前期前葉編刊行。 ○台地縁辺部に縦列に連なる縄文早期の集石群を検出。	廣
								【立塚遺跡】		土器(石坂式)、打製石鏃	○縄文早期編刊行。	
2	久保田牧遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	(主)鹿屋香平 佐多線改築事業	整理	—	4月 ～ 3月	縄文前期～中期	土坑17基、落とし穴6基、集石4基、土器集中1か所	土器(管煙式、条痕文、野久尾式、船元式、春日式)、打製石鏃、石匙、磨製石斧、打製石斧、磨石、敲石、礫器、石鏃	○縄文時代前期から古墳時代の整理作業を行った。 ○古墳時代の竪穴建物跡の出土土器からは、大隅半島特有の丸底を呈する広口甕などを確認できた。	森 廣
								縄文後期～弥生	土坑4基	土器(市来式、丸尾式)、土器(黒川式)、刻目突帯文、組織痕、打製石斧、紡錘車	○各時代の土器付着炭化物の年代測定や炭素・窒素安定同位体分析を行い、良好な資料が得られた。	
								古墳	竪穴建物跡19軒、土坑4基、土器箱1基	土器(成川式、舟塗)、杓子型土製品、須恵器、勾玉、小玉、紡錘車、棒状礫、炭化材、鉄製品		
3	立塚遺跡	鹿屋市			整理	—	H28 R2 ～ R4	縄文早期	環状配列土坑群46基、石皿片または礫等を伴う土坑61基、土坑24基、柱穴・ピット1505基、巨大柱穴13基、遺物集中1か所	土器(石坂式)、石鏃、土器(黒川式、干河原段階、刻目突帯文)、土製勾玉、打製石斧、石鏃、打製石鏃、磨製石鏃、石匙、磨石、磨石、敲石、礫器、管玉	○突帯文土器期の遺物を中心に、基礎整理作業を行った。 ○突帯文土器期の環状配列土坑群について、土坑内出土遺物の器種構成・分類を行い、遺構の時期と性格を検討中	山下 (勲) 倉元
								縄文中期～弥生	柱穴・ピット1基	土器(山ノ口式)	○古代の掘立柱建物跡、畝間状遺構、紫コラを含むピットの時代変遷を、埋土等から検討中	
								古墳	畝間状遺構626条、掘立柱建物跡5棟、柱穴・ピット1359基、土坑14基、古道9条、紫コラ堆積14基、溝状遺構3条、柱穴・ピット299基、土坑5基	土器(東原式)	○突帯文土器期の遺物については、分類を行い、次年度も継続して行う。	
								古代				
								時代不明				
4	二子塚B遺跡	大崎町	土木部 道路建設課	(一)黒石申良線 <二子塚工区> 地方特定道路整備	整理	—	R4 ～ R5	縄文早期	竪穴建物跡1基、土坑22基、ピット51基、遺物集中2か所、集石遺構9基	土器(加葉山式、石坂式、下刺峯式、手向山式、塞ノ神式)、石鏃、石匙、磨製石斧、打製石斧、磨石、敲石、石皿、台石	○二子塚B遺跡の調査区1の基礎整理作業を中心に行った。 ○古墳時代前期の全長10mを超える大型竪穴建物跡1基と東原式土器の一括廃棄を伴う竪穴建物跡1基が検出。	中野 椒田 鮫島
								縄文後期	竪穴建物跡1基、遺物集中1か所	土器(黒川式、入佐式)打製石鏃、チップ土器(高橋式)		
								弥生	—			
								古墳	竪穴建物跡3基、土坑18基、ピット147基	土器(東原式、辻堂原式)	○縄文時代早期の集石や竪穴建物跡が検出。また、早期前葉～後葉の土器や石器が出土。	
								時期不明	溝状遺構4条			

県立埋蔵文化財センター

市町村支援

No	市町村名	遺跡名	支援要件	時代	注目される成果・支援内容等	市町村担当	センター担当者
1	天城町	下原洞穴	報告書作成 (町内遺跡発掘調査等事業)	縄文	【支援内容】 ・報告書作成指導助言	具志堅 亮	堂込 秀人
2	出水市	出水城跡	整理作業 (市内遺跡発掘調査等事業)	中世 ～ 近世	【支援内容】 ・整理作業遺物指導	外村 さゆり	関 明恵
3	東串良町	唐仁1号墳	確認調査 (町内遺跡発掘調査等事業)	古墳	【支援内容】 ・確認調査支援	清水 航平	今村 結記
4	さつま町	供養原B遺跡 上原遺跡	整理作業・ 確認調査 (町内遺跡発掘調査等事業)	古墳	【支援内容】 ・X線撮影	佐藤 真人	隈元 俊一
5	南種子町	野木田遺跡	本調査 (経営体育成基盤 整備事業登永地区)	古墳	【支援内容】 ・発掘調査支援	小脇 有希乃	隈元 俊一 鮫島 えりな
6	知名町	知名町の古基	報告書作成 (町内遺跡発掘調査等事業)	中世 ～ 近世	【支援内容】 ・報告書作成指導助言	宮城 幸也	今村 結記
7	与論町	与論城跡	整理作業・ 報告書作成支援 (町内遺跡発掘調査等事業)	中世	【支援内容】 ・整理・報告書作成支援 ・X線撮影	南 勇輔	鮫島 えりな 隈元 俊一
8	錦江町	未定	試掘調査	弥生	【支援内容】 ・試掘調査支援	田代 真介	阿比留 士朗 平 美典
9	喜界町	荒木中央地区27・28工区	本調査 (畑総荒木中央地区27・28工区)	中世 ～ 近世	【支援内容】 ・発掘調査業務委託完了検査	島袋 未樹	平 美典

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第一係の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	野首	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号・白南・志布志道路建設	本調査	8,640	5月～2月	旧石器時代	礫群2基	尖頭器	旧石器時代は、ナイフ形石器文化期と細石刃文化期の遺構・遺物が出土した。それぞれ礫群が1基ずつ検出されている。 縄文時代早期は、3エリアに分かれて集石85基を検出した。形態は小規模なものから大規模なものまでバリエーションに富んでいる。また、出土石器が集石の基数に比して極端に少ないことが特徴である。 古墳時代は、竪穴建物跡1基を検出した。出土石器が小片のため明確な時期を特定できない。 このほか、アカホヤ火山灰上層で掘立柱建物跡1棟、埋土中に型式不明の鉢形石器が出土した土坑、巻貝が塊となって出土した土坑を検出している。	新保山川田上
								縄文早期	集石85基	土器片(石坂式ほか)、石錘、剥片石器、打製石鏃3、台石、磨石片、叩石片		
								古墳時代	竪穴建物跡1基	土器片(成川式)		
								時期不明	土坑2(計6基)ピット(数基)掘立柱建物跡	土器片、石錘、鉢?(SK4内出土)、鉢、石皿片・砥石片、寛永通宝、青磁		
2	南水ヶ迫B	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号油津・夏井道路建設	本調査	8,638	5月～2月	旧石器時代	-	石錘、スクレイパー、剥片、プランディングチップ、細石刃、剥片	旧石器時代は、複数の層から石錘などの石器が出土したが、礫群などの遺構は検出していない。 縄文時代早期は、集石4基を検出した。まとまって検出されており、掘り込みがあり礫数の多いもの小さいものに分けられる。 中世は、溝状遺構と古道(硬化面)を多数検出している。同層から玉縁口縁白磁碗、青磁碗、華南三彩鳥形水注、青白磁双耳壺等 近世は、溝状遺構1条 近代以降は、溝状遺構3条道跡1条 時期不明は、溝状遺構4条古道(硬化面)5条 須恵器、土師器、石皿、磨石片、有溝砥石、砥石片	兒島中原
								縄文時代早期	集石4基	石坂式土器、打製石鏃		
								縄文時代後期	落とし穴	中岳Ⅱ式土器		
								中世	溝状遺構5条古道(硬化面)11条	玉縁口縁白磁碗、青磁碗、華南三彩鳥形水注、青白磁双耳壺等		
								近世	溝状遺構1条	白薩摩、寛永通宝		
								近代以降	溝状遺構3条道跡1条	-		
								時期不明	溝状遺構4条古道(硬化面)5条	須恵器、土師器、石皿、磨石片、有溝砥石、砥石片		

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
3	萩ヶ峰	鹿屋市白水町	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号線古江バイパス建設	整理・報告書刊行	-	H26～H28・R4	縄文時代早期	集石3基、土坑1基	押型文土器	縄文時代晩期では、黒川式新様式(干河原段階)の土器の一群とともに南西諸島系土器である仲原式土器が出土した。大隅半島での出土は初例となる。胎土分析から、奄美大島北部の土器の胎土と近い結果が得られた。 古墳時代では、東原式土器を伴う竪穴建物跡を4期検出した。平面形が不定形で、張り出しやステップ状の段を有するものが多い。出土遺物は壺や壺のほか小型丸底壺(塔)や高坪、ミニチュア土器も出土しており祭祀の場として使用された可能性も考えられる。	宮崎北園西園
								縄文時代前期末～中期後半	-	深浦式土器		
								縄文時代晩期	-	黒川式(干河原段階)、組織痕土器仲原式土器、打製石鏃、磨製石鏃、石匙、石核、石錘、打製石斧、磨製石斧、磨石、石皿、砥石		
								古墳時代	竪穴建物跡4基、土坑2基、土器集中1基、帯状硬化面4条	成川式土器(東原式・笹貫式)、ミニチュア土器、須恵器、磨石、石皿		
								近世以降	-	染付(肥前系)薩摩焼(龍門司系・苗代川系)		
4	白水B	鹿屋市白水町	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号線古江バイパス建設	整理・報告書刊行	-	R4	旧石器時代	-	ナイフ形石器	遺構は古墳時代の帯状硬化面が、傾斜地に沿うように延びる3条に1条が交差する状態で検出した。遺物は旧石器時代のナイフ形石器、縄文時代早期の石核、縄文時代晩期の中華鍋型土器、古墳時代の東原式土器、古代の土師器、近世の染付・薩摩焼が出土したが、小片がほとんどであった。	宮崎北園西園
								縄文時代早期	-	水晶製石核		
								縄文時代晩期	-	組織痕土器		
								古墳時代	帯状硬化面4条	成川式土器(東原式・笹貫式)、土師器片、染付(肥前系)薩摩焼(龍門司系・苗代川系)		
5	山ノ上A	鹿屋市小野原町	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号線古江バイパス建設	整理・報告書刊行	-	R4	縄文時代早期	-	打製石鏃	縄文時代早期の石鏃や使用痕剥片、縄文時代晩期の精製の浅鉢や中華鍋形土器、古墳時代の東原式土器、笹貫式土器の破片が出土した。胎土の特徴から搬入品である可能性の高い重丸文をもつ精緻なつくりの小形丸底壺片も出土した。	宮崎北園西園
								縄文時代晩期	-	黒川式土器(干河原段階)、組織痕土器		
								古墳時代	-	成川式土器(東原式・笹貫式)、ミニチュア土器、石皿、磨石		

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

(公財)埋蔵文化財センター
調査第二系の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
6	諏訪ノ前	阿久根市波留	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道 阿久根川内道路建設	本調査	10,977	5月～1月	縄文時代 古墳時代 古代 中世 近世・近代 時期不明	— — — 竪立柱建物跡5軒 竪穴建物跡1軒 土坑15基 ピット174基 溝状遺構2条 礫集中部1基 土坑1基 溝状遺構1条 土坑1基 ピット90基 炉跡20基 段上遺構2基	石鏃、石斧、凹石 成川式土器 須恵器、土師器 須恵器、土師器 陶磁器(染付・青磁・白磁)、 瓦質土器、土鍾、石製カマド破片、 洪武通宝、懸仏(本尊) 陶磁器 石製品、鉛玉、青磁獅子香炉脚部	溝状遺構は、上部の埋土は新しい砂質土だが、床面に近い埋土になると中世後半(15世紀～16世紀)の陶磁器・瓦質土器、石臼片などが出土したことから、中世の溝状遺構を、近代ごろまで区画等で使用していた可能性が高い。また、調査区南側の東西にかけて2箇所の段状構造がみられ、近世以降に造成をうけた可能性もある。また、炉跡が20基検出され、焼土や炭化物の残存状況が非常に良いものも見られた。中世後半～近世にかけての炉跡と考えられるが、今後科学分析等で精査する必要がある。 遺物は中世後半の陶磁器や瓦質土器、土鍾等が出土しているが、特にすり鉢や火鉢が多い傾向にある。包含層出土の懸仏は、13世紀後半～14世紀に該当すると考えられ、遺跡の南西方向に存在する南方神社との関連がうかがえる貴重な資料である。	松山平嶺川野

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
7	六反ヶ丸	出水市六月田町	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道建設	整理・報告書刊行	—	R4	弥生時代中期 古墳 古代 中世 近世 近代 時期不明	水場遺構 1基 土器溜 1基 ピット 13基 段状地形 1条 — ピット 1基	土器(黒髷式土器) 丸木弓、装飾木製品、木製品等 東原式土器、笹貫式土器 肥後系土器 須恵器、土師器、墨書土器、土鍾、 陶磁器 陶磁器	弥生時代中期前半のイスノキ製の弓が4張、用途不明の装飾木製品等が、最下層の皿層から出土した。水田としての利用がないこと、桃の種子が十数個出土したことを踏まえ、祭祀に関わる水場遺構とした。 古墳時代は、成川式土器を中心とした土器及び礫が集中している土器溜1基、ピットを13基検出した。土器溜からは成川式土器と肥後系土器などが出土しており、在地系土器と外来系土器の混在が見られた。 また、古代では、ほぼ南北方向に延びる段状地形が見つかり、その周辺で「九」「志」「宮人」の文字が書かれた墨書土器が出土した。 鹿児島県下において最多の弓が出土する等、貴重な遺跡となった。	林田東
8	平佐焼窯跡群	薩摩川内市天辰町皿山	国土交通省九州地方整備局 川内川河川事務所	薩摩川内市街部改修事業	整理・報告書刊行	—	R3	近代	窯跡(連房式登窯・素焼き窯)2基 物原1か所 工房跡(溝跡・方形区画溝・埋設塞・階段・ロクロ土坑・井戸跡) 石垣・石積み 溝跡 貝溜まり土坑	陶磁器 (碗、皿、鉢、蓋、蓋物、急須、瓶、からから、仏飯器、火鉢、香炉、高坏、鳥飼容器、痰壺等) 窯道具 (焼台、天秤積み用置き台、センベイ、チャツ、重ね焼き用ハマ) 製作道具 (成土道具、成形道具、下絵付け道具) 窯材 (トンバイ、色見孔栓、火桶) その他 (土鍾、手水鉢、石硯、貨幣、馬の尻繫)	連房式登窯・素焼き窯・物原・工房等の窯業関連施設がまとまって検出された。また、多種多様な磁器製品や窯道具類が大量に出土し、県内ではあまり出土例が少ない成形道具も多数出土した。 遺跡の歴史的価値として、①明治時代における民窯の構成を知ることができる。②磁器生産技術の変化の過程や年代を知ることができる。③明治時代以降(廃藩置県後)、個人経営となった平佐焼窯跡群の状況をj知ることができるといった点が挙げられる。	百枝川口

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

(公財)埋蔵文化財センター
調査第三係の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
9	北山	阿久根市山下	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道 阿久根川内道路建設	本調査	2,350	9月～12月	縄文時代	土坑 1基, 集石 4基	土器, 石鏃, 打製石斧, 敲石, 石皿, 礫器	縄文時代の地層から検出した土坑内から完形になると考えられる土器が出土した。 昨年度検出した溝(SD18)の延長部分を確認した。溝の最上面に形成された道跡と考えられる部分は1条と考えられるが、溝の下部は二又に分かれていた。他に複数の溝及び道跡と考えられる遺構を検出しており、時期や構造、変遷過程について今後検討が必要である。	□ 山川野田
								古代	—	須恵器, 土師器		
								中世	—	土師器, 中世須恵器(甕・壺等【産地不明】), 国産陶器(甕・播鉢【備前・産地不明等】), 輸入磁器(青磁・白磁・青花等), 輸入陶器(甕・壺類), 瓦質土器(産地不明)		
	近世・近代	—	陶磁器(薩摩焼, 肥前系)									
	時代不明	溝跡 4条 石列 2条 帯状硬化面(道跡) 2条	鉄滓, 黒曜石剥片等									
	古代	—	須恵器, 土師器									
新城跡	—	—	—	—	—	1,098	—	中世	中世須恵器, 土師器, 国産陶器 輸入磁器(青磁・白磁・青花等), 瓦質土器(産地不明)	調査状況と明治時代の地図、過去の空撮写真等と照合した結果、一部を除き地形が大きく改変されていたことを確認した。出土遺物については昨年度の成果とあわせてまとめる必要がある。		
								時期不明	集積 1基		—	
								—	—		—	
10	玉利	指宿市十町	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	国道226号北十町歩道整備	本調査	2,074	10月～2月	縄文時代	—	石匙	開閉岳の噴火によって堆積した硬く厚い火山灰層の下から、弥生時代後半から古墳時代中頃にかけの甕や壺などの土器が大量に出土した。	岩永小野
								弥生時代	—	土器(山ノ口Ⅱ式土器 ほか), 石包丁		
								古墳時代	柱穴24基	東原式土器, 小型磨製石斧 鉄製品2点, 砥石, 軽石製品		
								その他	—	黒曜石		
11	山借シ	喜界町川嶺	九州農政局農村振興部設計課	喜界島農業水利事業第2ファームホンド建設	本調査	1,830	5月～7月	中世	石敷遺構1, 溝状遺構1, 土坑(焼土土坑含む)20基, 柱穴50基	龍泉窯系青磁(14～15世紀前半が主)白磁・陶器(甕・中国産), 石製鏃2点・滑石製品・ 獣骨(牛もしくは馬, 猪)・ガラスビーズ	中世の溝跡や炉跡, 石積遺構などが確認された。溝跡からは、廃棄された牛・馬などの獣骨, 青磁・白磁などの碗・皿・華南産陶器甕などを含まれた輸入陶磁器が大量に出土した。	岩永小野
								近世	溝状遺構1	陶磁器, 薩摩焼, 寛永通宝		
								近代以降	—	陶磁器, 一銭銅貨, 獣骨		

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
12	新城跡	阿久根市山下	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道建設	整理	—	R4 R5	古代	—	土師器	炭化物が出土した遺構の年代測定を実施した結果、複数の時期にわたることを確認した。遺構の時期を明確にし、土地の変遷を見ていくことが必要である。 出土遺物は、概ね15～17世紀初頭の時期のものである。特に輸入陶磁器には、漳州窯系青花碗・皿, 沖繩5類陶器甕, 金華鉄店窯鉢などの特徴的なものが含まれる。	□ 上床
								中世	ビット171基 虎口状遺構 炉跡 掘立柱建物跡	青磁, 青花, 播鉢, 鉄器, 土鏃, 石鍋, 瓦質土器		
								近世 近代	—	陶磁器		
								時期不明	—	鉄製品 サンゴ		
13	北山	阿久根市山下・波留	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道建設	整理	—	R2 R3 R4	縄文	集石1基	中原式系土器, 西平式系土器 打製石鏃, 磨製石斧	中世の遺構は、南東側の掘立柱建物跡2軒から北東に続く溝状遺構が中心で、他は大小の溝と小ビットが散在している状況である。 中世から近世にかけては、瀬田関連遺構が集中している区域があり、多量の鉄滓や炉壁等が出土している。また、隣接してカマド状の炉跡が集中して検出されている。 遺物は、中世の貿易陶磁器(白磁の碗・皿, 青磁の碗・皿・壺, 華南産陶器の甕など)を中心に、須恵器, 土師器(へら書文字入り), 石器・石製品(火打石, 金床石, 砥石等)が出土している。 特に、中世から近世の遺物は、13～14世紀半ばと15～17世紀初頭が中心となることが確認された。	山川 藤野田
								古墳	—	東原式土器		
								古代 中世	掘立柱建物跡7棟 竪穴建物跡1基 土坑26基 柱穴約205基 溝5条 礫集積1	須恵器(甕・坏・壺など) 土師器(甕・坏【墨書・へら書き含】・鉢・皿) 黒色土器A類 白磁(碗・皿) 青磁(碗・皿・坏・壺・鉢【越州系含】) 青花(碗・皿) 陶器(国産陶器【常滑・備前など】・輸入陶器【華南産など】) 鉄製品 石器・石製品(火打石, 金床石, 砥石等)		
								近世	柱穴605基 炉跡13基 製鉄関連遺構14基 帯状硬化面	染付(碗・皿など) 陶器(碗・皿・大皿など) 鉄滓		
								時期不明	掘立柱建物跡1棟 土坑17基 落とし穴2基 炉跡3基 溝4条 石組遺構1基,	土鏃 砥石 凹石		

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

1 資料調査・貸出等

資料調査受け入れ数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
7	9	6	1	0	0	0	23

調査遺跡数	調査遺物数
のべ71	(954) ほか一式

写真・図版貸出数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
9	5	0	8	1	2	1	26

写真・図版・遺物・剥ぎ取り資料貸出数

遺跡数	点数
のべ213	2,303

遺物・剥ぎ取り資料貸出数

博物館等	行政	大学	小中高	自治会等	企業	研究会	合計(件)
16	9	2	0	0	3	0	30

主な貸出先

国立歴史民俗博物館、九州国立博物館、
鹿児島県歴史・美術センター黎明館 ほか各博物館等

2 ホームページ(<https://www.jomon-no-mori.jp>)アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	11,361	13,804	14,131	12,882	12,948	10,644	11,411	12,787	10,075	11,588	12,218	10,876	144,725

3 データベース登録数(ホームページにて検索可能)

No	登録遺跡名	登録遺物		登録遺構		
		登録実測図	登録写真	登録実測図	登録写真	
1	市来貝塚	760	118	3	1	
2	井手原遺跡	65	65	5	4	
3	鹿児島城跡(犬追物馬場・火除地)2	462	253	76	17	
4	久保田牧遺跡1	383	354	87	67	
5	石鉢谷B遺跡	187	112	14	14	
6	北山遺跡	602	471	48	34	
7	小牧遺跡4	2,445	737	225	191	
8	川久保遺跡5	1,200	737	82	74	
9	中津野遺跡(低地部・低湿地部編)	1,504	726			
10	上野原遺跡(第2-7地点)第1-4分冊	2,148	1,032	289	93	
11	上野原遺跡(第2-7地点)第5-7分冊	2,070	672	196	60	
令和5度合計		遺跡数: 10	11,826	5,277	1,025	555
累計		遺跡数: 503	630,591			

4 分析・保存処理点数(令和5年度中に処理が完了した遺物数)

No	処理名	処理点数	遺跡名
1	金属器処理	180	小牧遺跡、久保田牧遺跡、北山遺跡、六反ヶ丸遺跡、鹿児島城跡、曲迫遺跡他
2	木器処理	30	鹿児島城跡、中津野遺跡
3	分析(蛍光X線、赤外線、レントゲン)	298	名主原遺跡、北山遺跡、与論城跡、川久保遺跡、平佐焼窯跡群、供養原B遺跡他

5 研修・講座等

埋蔵文化財専門職員養成講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	埋蔵文化財基礎講座	7月20日	7市3町のべ12人
2	埋蔵文化財技術研修講座(調査技術)	7月21日	3市4町のべ9人
3	埋蔵文化財技術研修講座(調査研究法)	1月18日～1月19日	11市7町のべ27人

教員の研修講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	フレッシュ研修講座 「体験・体感 縄文の森」	8月9日～8月10日	初任者4人
2	パワーアップ研修(10年経験者研修) 「体験・体感 縄文の森」	7月27日～7月28日 8月3日～4日	小・特・養・栄:16人 中・高:11人
3	地域体験研修(フレッシュ研修)・課題研究Ⅱ(パワーアップ研修)	8月23日～8月25日	教職員:6人

6 普及・啓発関係

鹿児島県立埋蔵文化財センター遺跡フォーラム2022

開催日	会場	内容	参加者数
令和5年12月2日	鹿屋市	かごしま遺跡フォーラム 掘り出された鹿屋の歴史と文化	150人

遺跡公開(現地説明会等)

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
大願寺跡	さつま町	6月24日	現地公開	40
合 計				40

(公財)埋蔵文化財調査センター実施分

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
野首遺跡	志布志市	12月9日	現地説明会	150
諏訪ノ前遺跡	阿久根市	1月20日	現地説明会	110

発掘体験等

遺跡名	場所	期日	内容	学校名等	員数
大願寺跡	さつま町	6月7日	遺跡見学・発掘体験	さつま町立柏原小学校5年生	18人
名主原遺跡	鹿屋市	9月5日	遺跡見学	東串良町文化財保護審議会委員	4人
名主原遺跡	鹿屋市	10月3日	遺跡見学・発掘体験	鹿屋市立吾平小学校6年生	32人
合 計					54人

職場体験学習・インターンシップ等

期 日	体験者等	内容	員数
5月9日～11日	霧島市立国分中学校2年生	職場体験学習	1人
5月16日～18日	霧島市立隼人中学校3年生	職場体験学習	2人
5月23日～25日	霧島市立舞鶴中学校3年生	職場体験学習	5人
合 計			8人

まいぶんキット貸出事業(ワクワク考古案を含む)

貸出内容						貸出対象数
本物の遺物(土器や石器など)をセットにしたものを学校等に貸出し、授業で本物に触れる機会を提供						対象12件, 790人以上
	貸出期間	学校等名	市町村名	対象		内容
				学年	児童・生徒数	
1	5月10日	国分南中学校	霧島市	1~3	194	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
2	5月29日	宮富小学校	肝付町	5・6	12	大隅国分寺と大隅半島の古代
3	5月31日	泰野小学校	志布志市	6	6	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
4	5月31日	立尾野見小学校	志布志市	6	16	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
5	6月19日	米ノ津東小学校	出水市	6	55	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
6	6月19日	枕崎小学校	枕崎市	6	55	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
7	6月22日	西原小学校	鹿屋市	6	77	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
8	6月29日	柏原小学校	さつま町	4・5	25	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
9	7月11日	鹿児島盲学校	鹿児島市	中3・高3	6	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
10	12月20日	宮之城中学校	さつま町	1	155	虎居城跡とさつま町の遺跡
11	1月24日	国分小学校	霧島市	6	128	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
12	2月9日	鹿島小学校	薩摩川内市	5・6	8	縄文土器・石器, 廃仏毀釈関連
合計					737	

※「ワクワク考古案」とは、専門的な知識を持ったセンター職員が、学習指導案を作成し、本物の資料や発掘調査の成果等を効果的に使用して行う授業支援。令和3年度からは「廃寺は語る！-よみがえる鹿児島の仏教文化」事業として実施している。

おでかけ体験隊支援

支援内容						対象数
土器、石器等の実物資料を活用した教育活動の支援と郷土教育推進を目的とした「上野原縄文の森」主体の出張講座で、埋文センター職員は随時支援を行う形で関わっている。						対象2件, 215人以上
	出期間	学校等名	市町村名	対象		内容
				学年	児童・生徒数	
1	5月10日	国分南中学校	霧島市	1~3	200	火おこし
2	7月11日	鹿児島盲学校	鹿児島市	中3・高3	15	講話
合計					215	

7 刊行物等

発掘調査報告書

No	シリーズ	発掘調査報告書名	所在地	執筆担当	発行月
1	セ222	黒川洞穴	日置市吹上町	堂込秀人	令和6年3月
2	セ223	廣牧遺跡	鹿屋市吾平町	黒川忠広・平美典	令和6年3月
3	セ224	久保田牧遺跡2(縄文時代早期・前期前葉編)・立塚遺跡1(縄文時代早期編)	鹿屋市吾平町	廣栄次	令和6年3月
4	セ225	光台寺跡・照信院跡・大願寺跡	指宿市岩本 曾於郡大崎町 薩摩郡さつま町	上浦麻矢・平美典	令和6年3月
5	セ226	高橋貝塚1(発掘調査記録写真集)	南さつま市金峰町	堂込秀人	令和6年3月
6	財54	平佐烧窯跡群(松山・柚木崎窯跡)	薩摩川内市天辰町	百枝勇一・川口雅之	令和6年3月
7	財55	六反ヶ丸遺跡4-E地点一	出水市六月田町	林田真一・川口雅之・東和幸	令和6年3月
8	財56	萩ヶ峰遺跡・白水B遺跡・山ノ上A遺跡	鹿屋市白水町 鹿屋市小野原町	宮崎大和・西園勝彦・北園和代・兒島直美・大保秀樹	令和6年3月

埋文だより(各2,400部発行)

No	シリーズ	内容	発行日
1	91号	名主原遺跡発掘調査, 発見! 発掘速報(公財), ワクワク考古楽・現地説明会, 河コレ遺跡めぐり(® 入来遺跡), 令和5年度 発掘調査予定遺跡	9月29日
2	92号	山ノ口遺跡出土遺物展示, 発見! 発掘速報(県), (公財)埋蔵文化財調査センター現地説明会, 自宅で遺跡を見学しよう	2月28日

8 鹿児島県立埋蔵文化財センター来所者数(令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個人	小学生	2	3	3	19	74	8	2	41	9	7	1	15	184	
	中学生	0	0	0	0	6	0	0	2	32	1	0	1	42	
	高校生	28	8	0	0	6	0	6	25	1	9	8	0	91	
	一般	142	139	127	125	184	151	134	138	145	147	150	178	1,760	
	その他	0	0	0	14	13	6	11	13	6	60	1	89	213	
	計	172	150	130	158	283	165	153	219	193	224	160	283	2,290	
団体	小学生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中学生	人員	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	136	0	153
		団体	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	高校生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	人員	0	10	0	12	0	0	0	0	0	54	0	39	115
		団体	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	計	人員	0	27	0	12	0	0	0	0	0	54	136	39	268
		団体	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	9
	計	小学生	2	3	3	19	74	8	2	41	9	7	1	15	184
		中学生	0	17	0	0	6	0	0	2	32	1	136	1	195
高校生		28	8	0	0	6	0	6	25	1	9	8	0	91	
一般		142	149	127	137	184	151	134	138	145	201	150	217	1,875	
その他		0	0	0	14	13	6	11	13	6	60	1	89	213	
計		172	177	130	170	283	165	153	219	193	278	296	322	2,558	

9 (公財)鹿児島県上野原縄文の森との連携

企画展・特別展関係

No	開催期間	企画展テーマ	講演会期日	職名・講師	講演会参加者数	総来園者数
				講演会テーマ		
第66回	4月22日 ～7月2日	「きゅら島あまみの歴史と文化！～奄美・徳之島世界自然遺産登録・奄美群島日本復帰70周年記念～」	6月3日	(公財)埋蔵文化財調査センター職員 「きゅら島あまみの歴史と文化」	29	4,527
第67回	7月22日 ～10月1日	「新発見！かごしまの遺跡2023～発掘調査速報展～」	8月19日	(公財)上野原縄文の森職員 「市来貝塚の発掘調査成果」 (公財)埋蔵文化財調査センター職員 「小牧遺跡の発掘調査成果」	38	3,704
			9月16日	始良市教育委員会社会教育課文化財係主査 岩元 康成氏 「前田遺跡の発掘調査成果」 (公財)埋蔵文化財調査センター職員 「川久保遺跡の発掘調査成果」	56	
第68回	10月21日 ～1月8日	「人のあゆみとジオストーリー ～南九州の火山と生きた人々～」 日本ジオパークエリア拡大認定記念	11月26日	「国分平野の成り立ちと噴火史」 鹿児島大学名誉教授 大木 公彦氏 「南九州の火山と先史時代の人々」 九州大学大学院比較社会文化研究院 特別研究者 柴畑 光博氏	178	4,244

考古学講座

No	期日	タイトル	講師	参加者数
第1回	4月15日	「探検！上野原遺跡」	上野原縄文の森職員	25
第2回	5月20日	「新！国指定史跡 鹿児島城のヒミツ」	西野 元勝氏 (県文化振興課 兼 歴史・美術センター黎明館学芸課 主査)	33
第3回	7月1日	「はじめての考古学～ドキドキ縄文土器～」	松山 初音 (公財)埋蔵文化財調査センター文化財専門員)	21
第4回	10月21日	「黒酢だけじゃない!?福山まち歩き」	東川 隆太郎氏 (まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会代表)	34
第5回	2月10日	「南の縄文文化」 (大野城こころのふるさと館で開催)	堂込 秀人 (鹿児島県考古学会会長・鹿児島県立埋蔵文化財センター文化財主事)	73

「河ロコレクション」の展示(常設展示コーナー)

	期日	展示内容
第1回	5月13日～9月8日	河ロコレクション ～出水貝塚～
第2回	9月9日～1月8日	河ロコレクション ～奄美諸島の遺跡～

鹿児島県立埋蔵文化財センター

研究紀要・年報 **縄文の森から** 第17号

※なお、本研究紀要は査読誌です

発行年月 2024年12月

編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号

TEL 0995-48-5811

E-mail maibun@jomon-no-mori.jp

URL <https://www.jomon-no-mori.jp>

印刷 有限会社 国分新生社印刷

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久627-1
